

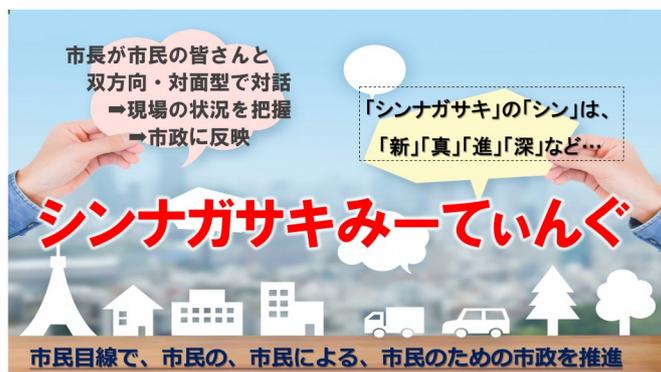
シンナガサキミーティング開催レポート

i n 仁田佐古小学校区



令和7年3月18日（火）、自治会やPTA、育成協、民生委員など12人の皆さんにお集まりいただき、仁田佐古小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、それぞれの立場で地域活動に取り組んでいることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①魅力的な夜景について

現在、大浦など稲佐山から見える斜面地区に電灯がついて夜景を彩っている。以前は浜町から上の地域まできれいな光のつながりがあったが、今では標高100メートルくらいからは急に真っ暗になっているようだ。そこで、自治会で希望を募り、稲佐山から見える方向の家々に、時間帯を決めて電灯をつけてもらうというようにできないか。そこで、市から電球1個でよいので、提供いただけると嬉しい。

市の考え方 回答

電球を提供することは難しいですが、長崎市の取り組んでいることとして、平成29年に策定した「環長崎港夜間景観向上基本計画」では、夜でも「まちなか」などを楽しく散策できるように「中近景の夜間景観づくり」と稲佐山などの視点場からみる「遠景の夜景みがき」をコンセプトに素材を活かした落ち着いた夜景づくりを産学官連携で進めています。その成果としては世界新三大夜景の認定や都市景観大賞の受賞など、広く世間に評価されております。

②大浦中学校統廃合後の跡地活用について

大浦中学校の統廃合計画が進行する中で、跡地活用についても同時に協議し、統廃合の際に活用方針を決定してほしい。

市の考え方

回答

行政目的がなくなった土地、建物などの財産については、まず他の行政目的での利活用を検討し、行政目的での利活用がない場合には、売却を基本としています。廃校施設のような規模が大きい財産については、民間事業者への聴き取りも行いながら、売却を含めた利活用を図ることとしています。

③旧仁田小学校グラウンドの活用について

旧仁田小学校の跡地の利用について、空き地のままとされている現状をどう考えているのか、地域と意見を交わしながら進めていくべきだと考えている。災害時の避難所として、この場所を有効に活用できることを希望している。また、グラウンドの一部を借りて公民館を建設できるなら、非常にありがたい。

市の考え方

回答

旧仁田小学校グラウンドについては、以前、仁田佐古の統廃合時の地域懇談会で説明しているとおり、一部を道路用地で活用するようにしています。工事の着手時期を令和10年度以降で考えており、工事の施工ヤードとして使用する予定です。
また、施行後に残地が生じた場合には、他の行政目的での利活用を検討し、行政目的での利活用がないときは売却を基本としております。

④旧仁田小学校のプール解体について

プールの撤去工事については、令和5年度に予定していると聞いたが、現時点でまだ撤去されていない。今後の対応がどうなっているか知りたい。

市の考え方

回答

旧仁田小学校のプールの解体については、解体に用いる重機のプールに至るまでの動線の確保が困難であることから、現在、解体手法の検討を行っています。

⑤通学費の補助について

大浦中を梅香崎中に統合する方向で、保護者・地域・市教育委員会で協議を行っているが、統合することになれば通学区域が広がり、平坦な道なら歩いても斜面地だと大変。バスを利用しても、現行の通学費補助制度では、距離の要件で補助の対象にならない生徒が出てしまうため、斜面地という特性を加味した制度を検討してほしい。

市の考え方

回答

通学費については、距離に応じて補助を行っていますが、今後、学校の統合を進めていく上では、通学区域が広がることによる通学距離の延長だけでなく、高低差も課題となることを認識していますので、高低差を加味した制度を検討する予定としております。

⑥スポーツ推進員について

大浦中学校がなくなった場合、地域のスポーツ推進委員はどうなるのか。

市の考え方
回答

スポーツ推進委員は中学校校区ごとに、校区長を定め、校区を単位として活動していただいています。現状の中学校校区がなくなり、隣接の校区に編入されることになれば、スポーツ推進委員として活動する校区も変更になることから、区割りについては、出来るだけ早い時期に情報を取得し、その後のスポーツ推進委員として活動する校区について、現場のスポーツ推進委員の意見を尊重しながら対応していくようにいたします。

⑦後継者問題について

「老舗菊水 大徳寺」は高齢のご夫婦が梅が枝餅を販売しているが、後継者が必要であり、若い人たちに製作方法を教えたいと思っているとのこと。地域としてはこの事業を支援し、後継者に引き継いでもらいたいと考えているので、何か支援できる方法はないか。

市の考え方
回答

後継者問題については、国が設置した事業承継・事業引継ぎの相談所として、長崎県事業承継・引継ぎ支援センターがございます。当センターはあらゆる事業承継についてワンストップで相談できる公的支援機関ですので、後継者不足でお悩みの際はご相談ください。

長崎県事業承継・引継ぎ支援センター ☎095-895-7080

⑧乗合タクシーの導入について

乗合タクシーの再開とルート計画について、進捗状況を報告してほしい。

市の考え方
回答

館内～大浦中学校区間における乗合タクシーの導入については、導入の可否も含め、タクシー事業者と協議を行いながら検討を行っているところです。

地元とは、令和6年2月を最後に経過報告等を行っていない状況ですが、早期に検討状況又は検討結果についてご報告したいと考えています。

⑨斜面地版のシンナガサキミーていんぐについて

小中学校区になると、他地区の貴重な話も聞けるが、住環境の違う地区が集うので時間的にも個別の思いを伝え難い。ぜひとも、同地区の中でも斜面地区のみで開催してほしい。

市の考え方
回答

これまでも、テーマ別にシンナガサキミーていんぐを開催しておりますので、開催に向けて検討させていただきます。

⑩椎の木町玉木建設下の道路拡幅計画について

道路拡張の代替として、舗装工事を施して頂き路面が滑らかになり、地域の方からバスの乗り心地も大変よくなったと喜ばれている。そこで、道路上側にある買収後の空き地を再確認され、崩壊などの危険性があれば対策をお願いしたい。

市の考え方
回答

道路上側の事業用地については、必要に応じ除草を行うなど維持管理を行っており、崩落などの危険性についても、市民に危険が及ぶことの無いよう適切に管理していきます。

⑪防災行政無線戸別受信機について

防災行政無線戸別受信機が余っていると聞いた。例えば、危険地区にお住まいの方などに配布したらどうか。受信機が保管中に劣化して壊れたらもったいない。一刻も早く、利活用を考えてほしい。

市の考え方

回答

戸別受信機の無償貸与については令和7年6月に要綱を改正し、身体障害がある方など災害時に素早い情報入手や行動が困難な方や、自治会など災害時に住民を支援することが期待される団体などについて、無償貸与の対象を拡大したところであり、現在、対象者に対し、貸与を促進するための周知を行っています。

⑫簡易水流し尿汲み取り料金について

平成の大合併により、汲み取り料金の地域格差が発生した。長崎市全域を、できるだけ早期に旧合併庁内の料金に統一するべきだと思う。

市の考え方

回答

本市におけるし尿くみ取り料金については、旧長崎市地区と旧合併町地区において、合併時点で最大約3.4倍の差があり、これまで見直しを図ってきたところですが、現在も約1.3倍の差が生じている状況があるため、今後も引き続き見直しを検討してまいります。

そのほか、「多くのコミュニティ（育成協やコミュニティ協議会等）を作る意味があるのか、効率的な方法があればいいのではないか」などのご意見をいただきました。いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



鈴木市長のひと言

斜面地特有の課題や中学校の今後の方向性など地域特有の課題や、高齢化、担い手不足、空き家問題など、いろいろ課題についてご意見をいただきました。この課題解決に向けては、いろんな手段ああると考えていますので、どうゆう手段が可能なのか、皆さんのお声をしっかりと伺いながら、考えていきたいと思います。



参加者からの感想

市長は一生懸命答えようとしている姿勢はよく伝わってきた。

市長に丁寧に対応していただき、前向きな言葉をもらえて希望を持った。

各地区の意見を聞いてもらえてよかった。

斜面地なので問題点が多く出てきた。要望になかなか答えが出ないので、頑張してほしい。

